

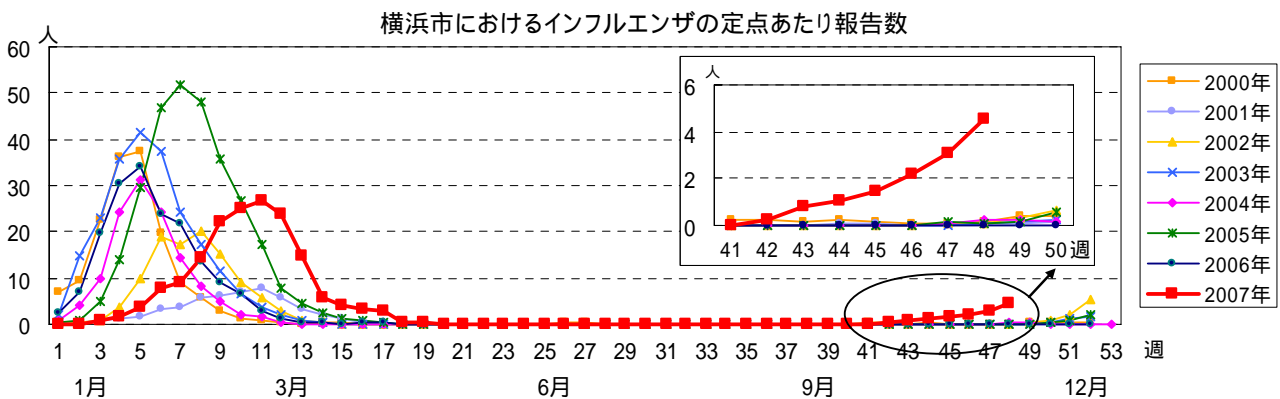
# 横浜市におけるインフルエンザ等の流行情報(その 5)

## 1. 感染症発生動向調査におけるインフルエンザの患者発生報告状況

### (1) 患者定点医療機関からの患者報告状況

横浜市では、過去 6 年間の流行と比べて最も早い第 44 週(10/29～11/4)に、近隣の都県に先がけて流行期に入りました。今シーズンは流行が早まっており、早期のワクチン接種が望まれます。

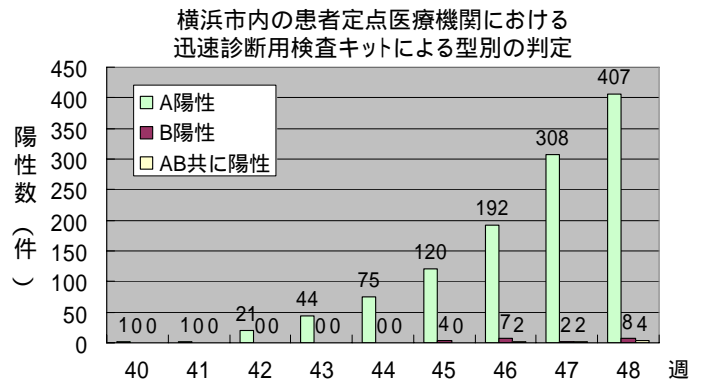
横浜市では、第 48 週(11/26～12/2)の患者定点医療機関からの患者報告数は 528 人(前週より 162 人増)、定点あたり報告数は 4.55(前週の 1.5 倍)と、増加しています。区別では、瀬谷(13.0)と緑(12.3)が注意報レベルの 10 を超えており、以下、神奈川(9.0)、西(6.4)、港北(5.7)、青葉(5.3)、港南(5.3)、旭(5.0)、戸塚(4.5)、鶴見(4.1)、都筑(3.3)、保土ヶ谷(2.4)、南(2.4)、磯子(2.0)、泉(1.2)と 15 区で流行期に入っています。



また、横浜市内の患者定点医療機関のご協力でご報告いただいた迅速診断用検査キットによる型別の判定をグラフに示しました。第 48 週までの累計で、A 陽性 1169、B 陽性 21、AB 共に陽性 8 の報告がありました。

全国でも、この 20 年で最も早く第 47 週に流行が始まり、第 48 週の定点あたり患者報告数は 2.29 と、さらに増加しています

流行期に入っている都道府県は、北海道、青森県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県、兵庫県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、沖縄県の 16 都道府県です。



全国および神奈川県、東京都の定点あたり患者報告数(総報告数÷報告のあった定点医療機関数)

	第 44 週 (10/29～11/4)	第 45 週 (11/5～11/11)	第 46 週 (11/12～11/18)	第 47 週 (11/19～11/25)	第 48 週 (11/26～12/2)
全国	0.26	0.50	0.94	1.52	2.29
東京都	0.61	0.64	1.02	1.44	2.28
神奈川県	0.65	1.00	1.75	2.63	3.86
横浜市	1.03	1.44	2.15	3.08	4.55
川崎市	0.52	0.85	1.51	3.06	4.43
県域(横浜、川崎除く)	0.42	0.71	1.50	2.07	3.05

### (2) 学校等における集団かぜについて

市内の幼稚園、学校等からの集団かぜ等の報告は、12 月 10 日までに施設閉鎖 1 施設(10 学級)、学年閉鎖 2 施設(8 学級)、学級閉鎖 7 施設(15 学級)となっています。累計では、幼稚園 5 校、小学校 3 校の計 8 施設になりました。区別では、旭(2 施設)、緑(2 施設)、港南(1 施設)、港北(1 施設)、青葉(1 施設)、都筑(1 施設)から報告されています。

全国での状況については、<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/infreport/report.html> をご覧ください。

## 2. 感染症発生動向調査等におけるウイルス検出状況

全国的には、ここ数年間は大きな流行が見られなかったAソ連型が検出されています。これらは、今シーズンから使用されているワクチンと類似株とされていますが、最近横浜市内から検出されたウイルス株は、抗原変異が進みつつあるので、今後注意が必要です。

インフルエンザワクチンについて([http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection\\_inf/influvaccine1.htm](http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection_inf/influvaccine1.htm))

### (1) 病原体定点の検体からのインフルエンザウイルス検出状況

月集計および週数	定点数	検体数	インフルエンザ検出状況					
			A 型				B 型	
			H1(ソ連型)		H3(香港型)		分離	PCR*
			分離	PCR*	分離	PCR*		
2007年10・11月集計(第43週～第48週)	16	45	16	3				
2007年第49週	6	15	3	1				

\*:ウイルス分離はされていませんが、遺伝子検査で検出されたものを計上します。

### (2) 学校等における集団かぜからのウイルス検出状況

発生週	区数	施設数	検体数	インフルエンザウイルス検出数					
				分離			遺伝子*		
				AH1	AH3	B	AH1	AH3	B
第45週(11/5～11/11)	1	1 小学校	4	2			(2)		
第46週(11/12～11/18)	3	1 小学校	1	1					
		2 幼稚園	6(1)	6(1)					
第49週(12/3～12/9)	2	1 小学校	2	2					
		1 幼稚園	3						

検体数、検出数の( )内は保護者で内数です。

\*:ウイルス分離はされていませんが、遺伝子検査で検出されたものを計上します。

( )内の数字は、NA 遺伝子(ノイラミニダーゼ領域の遺伝子)でN1のみ検出していることから推定しています。

国立感染症研究所の病原微生物検出情報によれば、12月10日現在、全国の地方衛生研究所のインフルエンザウイルス分離状況は、AH1型239例、AH3型16例、B型2例です。

詳しくは、<https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data1j.pdf> をご覧ください。

その他の感染症に関する情報は [http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection\\_inf/](http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection_inf/) をご覧ください。